

お待ちたせいたしました。4年ぶりに帰ってきます！

製作  松竹

松竹大歌舞伎

教文ホールメイト会員 
先行販売開始！

2023年7月5日(水) 昼13時／夜17時30分開演

昼夜2回公演

※45分前開場予定

※上演予定時間 約2時間45分

札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市中央区北1西1)

ホールメイト会員割引チケット料金 (税込)

一等席 10,000円→9,500円 二等席 9,000円→8,500円

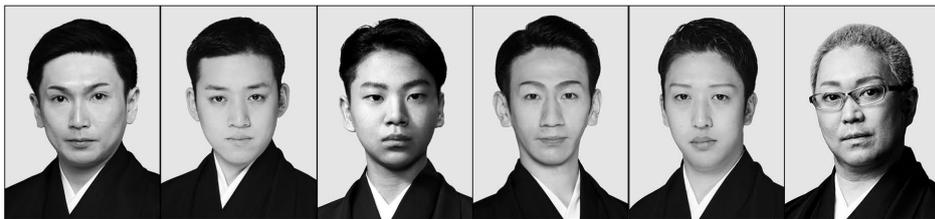
ホールメイト会員先行販売期間

3月6日(月) 10時00分～3月10日(金) 23時59分

▶販売詳細は、23年度会員さま向け「松竹大歌舞伎」先行販売ご案内でチェック！

松竹大歌舞伎

製作 松竹



ばんどうかめぞう 坂東亀蔵 なかむらまん たろう 中村萬太郎 おのえ さこん 尾上左近 ばんどうしん ご 坂東新悟 なかむらばいし 中村梅枝 おのえしやうく 尾上松緑

鬼一法眼三略巻

一、菊きく

河竹黙阿弥 作

二、新古今劇しんきんげき 十種の内じゅうしゅのうちに 土つち

初代花柳壽輔 振付

三、土蜘蛛つちぐも

長唄囃子連中

一 幕

■菊畑きくばたけ

吉岡鬼一法眼

■土蜘蛛つちぐも

■土蜘蛛つちぐも

坂東亀蔵 坂東新悟 尾上左近 中村萬太郎 中村梅枝 尾上松緑

あらすじとみどころ

■菊畑きくばたけ

平家全盛の時代。舞台になっている兵法学者・吉岡鬼一法眼の館の庭は、今を盛りと見事に菊が咲き誇っています。かつて源氏に仕えていた吉岡三兄弟の長兄である鬼一は、今は平家に仕えています。その鬼一の館に奉公している奴の智恵内は、実は鬼一の弟鬼三太で秘蔵の虎の巻を手に入れるために姿を変えて、敵方の平家に与する兄の真意を探っています。主君である牛若丸もまた、平家討伐の大望を抱きつつ、虎蔵という奴に身をやつし、この館に奉公をしています。鬼一の娘・皆鶴姫は以前から、虎蔵に一途な恋心を寄せていましたが、二人の素性を知ってしまい……。

時代物の浄瑠璃の『鬼一法眼三略巻』は、享保十六（一七三一）年九月、大坂の竹本座で初演、後に歌舞伎に移入されました。全五段の内、『菊畑』の通称で知られる本作は三段目にあたります。本名題にある『三略巻』とは、中国の兵法書『六韜』『三略』を指したもので、その中には、所謂、「虎の巻」である「虎韜」が含まれており、この「虎の巻」が物語の展開で重要な役割を果たしています。満開の菊畑を背景に、歌舞伎ならではの様々な役柄が登場する華やかな一幕です。

■土蜘蛛つちぐも

時は平安時代。病床に伏せる源頼光の館。家臣の平井保昌が見舞いに訪れ、薬を届けに来た侍女胡蝶が紅葉の名所の様子を物語るの、頼光はしばし癒されています。しかし夜が更け、再び胸苦しさを感ずる頼光のもとへ智籌と名乗る叡山の僧が忽然と姿を現します。智籌は病氣平癒の祈禱を申し出ますが……。

明治十四年（一八八二）六月、河竹黙阿弥の作詞、三世杵屋正治郎の作曲、初世花柳壽輔の振付により、三世尾上菊五郎の三十三回追善狂言として五世菊五郎によって新富座で初演され、後に菊五郎家の家の芸「新古今劇十種」の一つに選定されました。謡曲の「土蜘蛛」を素材とした舞踊劇で、能舞台を模した松羽目物の大曲の一つとして繰り返し上演されています。智籌が醸し出す妖しさと頼光が見せる品格の対峙、本性を現した智籌が千筋の糸を繰り出す華麗な立廻りに目を奪われます。重厚でありながら変化に富んだ舞台をご堪能ください。